

學 藝 新 聞

第13号
2019年（令和元年）7月19日 発行

- OGCIS開校 1
- 国際科 2
- 附属中 3
- 高等学校修学旅行 4・5
- 輝く人（卒業生・在校生紹介） 6・7
- 学芸スポーツ 8

発行元
学校法人 大阪学芸
大阪学芸高等学校
大阪学芸高等学校附属中学校
〒558-0003 大阪市住吉区长居1丁目4番15号
TEL.06-6693-6301 FAX.06-6693-5173

OGCIS 開校



大阪学芸カナディアンインターナショナルスクールが開校してからは約3か月。生徒たちは熱意を持って一生懸命授業に取り組んでいます。

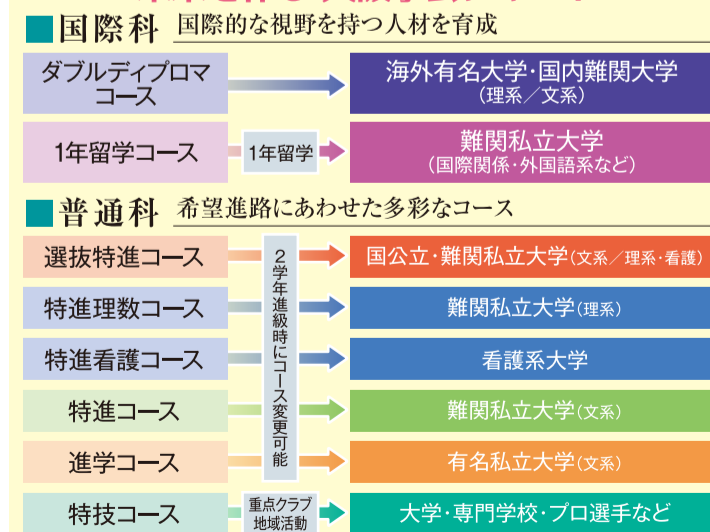
I am happy to report that the Osaka Gakugei Canadian International School classes have been in session for over three months and that the students continue to be very enthusiastic and are working very hard.

（2面へつづく）

※OGCIS:Osaka Gakugei Canadian International School (大阪学芸カナディアンインターナショナルスクール)の略

個性に応じた8つのコース

未来を作る 大阪学芸チャート



入試説明会 OPEN SCHOOL 2019

対象 生徒・保護者
場所 本校

- 9/22 (日)
 - 10/20 (日)
 - 11/3 (日・祝)
 - 11/17 (日)
 - 12/1 (日)
- ※12/1は入試説明会のみ

特技コース(地域活動)相談会
8/21 (水)
※あべのハルカス25F 会議室



学校法人 大阪学芸
大阪学芸高等学校

お問い合わせ 大阪学芸高等学校 募集対策部
〒558-0003 大阪市住吉区长居1丁目4番15号
TEL 06-6693-6301 FAX 06-6693-5173

詳しくは高校ホームページへ
大阪学芸高校 検索

学芸ニュース

BC 教員紹介・授業概要



MathおよびScience10のBC教員であるマジスタレ先生(以下マジ先生)は、生徒が常に頑張っている姿勢や、最善を尽くしたいと思っていることに感銘を受けています。マジ先生はより深く学習を進めるためにビジュアル、ノート、ディスカッション、グループワーク、そしてアクティブラーニングなどを授業に取り入れています。理科では、授業の冒頭で紹介した科学的方法に基づいて独自の実験を創り出しました。生徒は実験室で実験をしたことでスキルが向上しました。

サドラー先生は様々な教材とメソッドを使ってLanguage Arts10を教えています。生徒たちはカナダの綴り、句読法、文法を習いながら、批判的に、創造的にそして反省的に考え、テキストの意味を探究できるようになるため、日々授業に取り組んでいます。リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの授業には、プレゼンテーション等を用いています。今学期、生徒はこれらのスキルを短編映画に応用しました。生徒たちは自分の考えや意見を表明し、新しい英語を積極的に使って自信をつけています。

6月8日から12日の間に行われた三者面談の前に、中間レポートが保護者に渡されました。生徒は学力と進歩、授業態度、課題の提出の3項目について評価されます。成績は包括的なもので、各カテゴリーに対する生徒のレベルを示します。期末レポートはBCの筆記テスト点そして先生からのコメントが含まれます。

BC科目のCareer Education10は生徒のキャリアパスについて考える授業です。現代社会の変化に適応できるように、計画し、反映し、適応し、そして決定するというキャリアサイクルについて考えることが非常に重要になります。このタームは、ビジョンの作成から始まり、自分のビジョンの達成に向けて達成可能な目標を設計することで、意義のある目標設定のスキルを模索しています。私たちは計画のスキルとともに個人的な興味や強みを探し、キャリアの選択肢について考え始めています。これからのキャリアライフスタディについてもOGCISのウェブサイトでも継続的に伝えていきたいと思っています。

Douglas Ibbott
OGCIS Principal

※BC: British Columbia (ブリティッシュコロンビア) の略

ダブルデュプロマコース



1年A組 担任 高草 麻里

Osakagakugei Canadian International School(以下、OGCIS)は大阪学芸高校とカナダ、ブリティッシュコロンビア州(以下、BC州)の教育省が提携し、在学期間3年間で、日本とカナダの卒業資格をどちらも取得できるプログラムです。開校初年度の2019年度は、12人のOGCIS第1期生が入学しました。カナダ流の入学式(PIN CEREMONY)では、生徒たちはOGCIS生の証であるカナダと日本、そしてBC州の旗をあしらったピンバッジを胸元に付け、誇らしげにしていました。4月当初は、英語で行われるカナダ流の授業が新鮮で楽しんでいましたが、回数を重ねるたびに難しくなっていく英語に戸惑い、悩むことも増えてきました。その一方で、第1期生12人全

員が協力し、助け合うことで困難なことでも乗り越え、互いに意識とスキルを高めあっているように感じます。

OGCISの英語(Language Arts)では、4月より、物語の構造や登場人物のキャラクターを文章でどのように表現しているかを学んでいます。映画を視聴し、台詞の中で使用されている言葉や登場人物の表情や服装等から、物語の伏線がどこにあるのかを見つけるといった学習もしています。また数学では、日本ではあまり使用されない関数電卓を使用し、英語で書かれた問題を解いたり、生徒自身が英語で数学の問題を作問したり、クラスメイトの作った問題を解いてみたりしています。科学は実験をしたり、薬品の取り扱いについて調べながら実験する環境についてイラストでまとめて発表したりもしました。

また勉強だけでなく日本や海外の文化、人権や進路についての知識を深めています。なかでも、ダブルデュプロマコースはOGCISの進路教育(Career Education)を通して、タイピングスキルの向上、カナダのアボリジニ教育(人権教育)などを行う中で、国際人として活躍していくための基礎力を養っています。

7月には、カナダ、スーク学区での短期留学が行われます。中には初めて海外へ行く生徒や初めてホームステイをする生徒もいます。スークでは、現地校(Belmont Secondary School)へ通い、午前中は英語で社会の授業、午後からはカナダでしか体験できないアクティビティに参加する予定となっており、A組の生徒全員が、短期留学をととても楽しみにしています。

日々、様々なことと葛藤し、成長を重ねていくOGCIS第1期生。今はまだ小さな蕾ですが、OGCISでの3年間を通して、学び、感じ、言葉で伝えていく能力を身につけて欲しいと思っています。ますますグローバル化していく社会に対応できる柔軟さ、目の前にある問題を解決していく力、先を見通し行動する力などを養い、OGCISで鍛えられた英語力を活かし、物事を客観的に捉え、意見を発信していく国際人として大きな花を咲かせてほしいと願っています。



一年留学コース



1年B組 担任 内田 智之

1年B組はクラスの全員が1年間の留学を目指すコースです。これまでの国際コースが、国際科のクラスとしてスタートしました。

授業には通常の英語の授業の他に、国際理解や英会話の授業があります。キャンベル先生やクラーク先生と一緒に、英語を話す練習はもちろん、留学先である

ニュージーランドやカナダの文化などについても学んでいます。また、留学中には「自分のことは自分でやる」ことが必要になるので、お弁当を自分で作ったり、家事を手伝ったりする中で、多方面での準備を進めています。

生徒達は将来「海外で働きたい」、「英語や他の外国語を使って仕事をしたい」といった夢をもって、日々勉強しています。留学の準備を十分にすること、そして

海外で1年間ホームステイをしながら生活することは簡単ではありませんが、「協力すること・貢献すること」を意識して、"One for all; All for one"をクラスターマに、みんなで頑張っています。

入学してから3か月が経ちましたが、生徒たちそれぞれが目指す場所にたどり着くには学ばなければならないことがまだまだたくさんあります。これからの社会では、単に英語力を身につけるだけでなく、人としてのあり方も大切になってきます。人権感覚を磨き、積極的に学ぶ姿勢を持ち、考えて実行する習慣を身につけてほしいと願っています。世界に貢献する人材となるために、高い志をもち、留学を通して大きく成長することを期待しています。



附属中学

3年生

5月15日～5月19日

オーストラリア修学旅行

オーストラリアの文化や自然を満喫！



附属中学校2回目となる修学旅行が実施されました。行き先は、昨年度に引き続きオーストラリアのケアンズ方面です。

生徒たちにとって中学校生活最後の宿泊行事。日頃の英語教育、国際理解教育、そしてこれまでの学校生活を通して培った、自主性・社会性・協調性を存分に発揮し、有意義なものとすることができました。

初日、多くの保護者の方に見送られ、関西国際空港を出発。

2日目、まだ辺りが真っ暗な中、ケアンズ国際空港に到着しました。数日前に季節はずれのサイクロンが通過したらしく、その余波であいにくの雨でした。空港近くの施設で朝食と着替えを済ませ、キュランダ鉄道に乗車しました。車内では、見どころポイントにさしかかる度、生徒たちは窓に取りつき、車窓から見える絶景をカメラに納めていました。約1時間半後、列車は目的地、キュランダ村へ。ここでは動物園に入り、コアラやカンガルーなどの動物に会いました。その後、アボリジニ文化体験(楽器の紹介、ブーメラン投げ体験、やり投げの紹介)をし、最後にダンスショーを観賞しました。続いてキュランダ村で初の自由時間。班ごとに思い思いの場所で昼食をとったり、買い物を楽しんだりしました。そしてこの日の宿泊地、マンガリーフォールズへ。夕食後は明日のアクティビティに備え、早めの消灯です。



3日目、雨が降ったり止んだりのあいにくの天候でしたが、現地の小学生と一緒に、イカダ作り、アーミーアスレチック、そしてブッシュウォークのアクティビティに参加しました。合間にオージーキッズと一緒に昼食をとり、交流を深めました。



最後はオージーキッズと記念撮影、学校へ帰る彼らを、手を振って見送りました。そして休憩後、カモノハシ探索へ。運良く施設を出てすぐに見つけることができました。夕食後は土ボタルの見学ツアーに。施設脇にある滝の下まで行き、多くの土ボタルを見ることが出来ました。



4日目、連泊したマンガリーフォールズに別れを告げ、バスでケアンズに戻りました。さらにケアンズから高速船に乗船。途中、上下に大きく揺られながら、約1時間後、グリーン島に到着。ここでは4つの班に分かれ、昼食、島内散策、シュノーケリングまたはグラスボートを楽しみました。そしてケアンズに戻り、地元のスーパーやOKギフトショップでお土産を袋いっぱい購入しました。夕食後、宿泊施設に到着し、明日の帰国のため荷造りをした後に就寝。



5日目、いよいよ最終日。ホテルで朝食を済ませ、バスでケアンズ国際空港へ。搭乗までの時間、空港内のお店で最後の買い物をしたり、軽食をとったりしました。そして一路大阪へ。

お土産だけでなく、体験してきたことへの感動すべて、おうちの方々に持ち帰りましたか？



附属中学

1年生

4月23日～4月24日

宿泊研修

新しい仲間と過ごす中学生生活の第一歩！



中学1年生68名は、大阪府立青少年海洋センター(大阪府泉南郡岬町)で宿泊研修を実施しました。

自分自身がルールや時間を守るのももちろんのこと、班別行動や集団行動の中で、「自分のすべきことを自覚して責任を果たす」「仲間とともに協力して課題に取り組む」ことを目標に、ラジオ体操、長縄跳び、トレーニング、校歌指導、カッターボート実習などのプログラムを行いました。

2日間にわたって実施された現地プログラムの中で、カッターボート実習では、掛け声に合わせて舟を漕ぎ、沖まで向かいました。初めはなかなかタイミングが合わず苦慮していましたが、徐々に慣れていき、自分たちで考えた掛け声によって上手に舟を漕ぐことができるようになりました。



ラジオ体操やトレーニングでは体力作りに励み、校歌指導では大阪湾に響き渡るような元気な声で校歌を歌い上げました。長縄跳びでは最初、なかなか思うようにいかず四苦八苦していましたが、互いにアドバイスしあって少しずつ跳ぶ回数も増え、「やったー！ さっきよりも跳べた！」と嬉しそうな声が聞こえてきました。



行く前は期待と不安が入り混じった表情の生徒たちでしたが、帰るころには集団生活を通して学んだ責任感や協力し合うことを身につけ、これからの中学校生活でそれを活かしていこうと意気込む姿を見せてくれました。

附属中学

2年生

7月9日～7月10日

勉強合宿

仲間と共に、朝から晩まで集中した学びの時間を。

中学2年生は、ホテルクラシア大阪ベイにて勉強合宿を行いました。2日間にわたって朝から晩まで教科学習の海に浸りました。教科学習のみではなく、同時にホテルステイのマナーも学び、意義深いものとなりました。

修学旅行



雄大な自然や豊かな文化 歴史の深さを肌で感じた 高等学校 2年生 修学旅行

ロサンゼルス



A班は5月16日から、B班は5月17日からの4泊6日でした。関西国際空港を夕刻に出発し、ロサンゼルス国際空港には現地時刻で正午前に到着。とは言え、日本時刻では午前4時。まずはサンタモニカで、延々と続く西海岸のビーチと世界一有名な栈橋に感動しながら、心地よい海風に眠気を吹き飛ばしてもらいました。その後、ハリウッドを訪れ、アメリカを全身で実感。映画スターの足型に自分の足を重ねた後、“HOLLYWOOD”のサインをバックに写真を撮影しました。

A班2日目(B班3日目)の午前中はグループに分かれてのアクティビティ。ドジャースタジアムでは、スタジアムツアーを通してベースボールを体感。動物園・水族館では、特に広大な動物園にて、日本より近い距離で動物と触れ合いました。A班は西海岸を、美しい風景と爽やかな風を楽しみながらサイクリング。天候に恵まれなかったB班は、ハリウッドで映画スターと写真撮影。といっても、相手はハリウッド技術を使った本物そっくりのろう人形でした。

A班・B班ともに、2日目の夕食後、映画のロケ地として有名なグリフィス天文台を見学。ロサンゼルスを一望する景色を楽しみました。

A班3日目(B班2日目)は、カリフォルニア大学ロ

サンゼルス校(UCLA)を訪問。UCLAで学ぶ日本人学生案内で名門大学のキャンパスツアーに参加しました。敷地の広大さ、図書館などの施設の充実ぶりに圧倒されたあと、日本人学生と昼食を共にしながら交流しました。この日は、カリフォルニア・サイエンスセンターでスペースシャトルの実機を見学するなど、アカデミックな1日となりました。

4日目は、グループ別に、ディズニーランド・パーク、ディズニー・カリフォルニア・アドベンチャー、ユニバーサル・スタジオへ。丸一日、楽しい時間を過ごしました。

地図の上だけでなく、自然や知識、文化の面でも、世界の広さを体験することができました。UCLAで色々と刺激を与えてくれた学生たちのように、語学力を磨いたり、知識を深めたりすることによって、自らの力でその世界をさらに広げることができます。そのための勉学を重ねてくれることを、期待しています。



A班 生徒73名・教員4名
B班 生徒81名・教員4名

イタリアコースはA班とB班に分かれて催行しました。ローマやフィレンツェ、ヴェネツィアといった主要都市だけでなく、美しい丘上都市オルビエートなどにも訪れました。

ローマではバチカン市国にも訪れました。シスターナ礼拝堂の厳肅な雰囲気やサン・ピエトロ大聖堂の大きさに感動し、ミケランジェロの描いた『最後の審判』の迫力に圧倒されました。また、コロッセオやフォロロマーノを訪れた際には、その壮大な姿に感銘を受け、ガイドさんの解説を熱心に聞きながら当時の景色を想像している様子でした。さらに、現地の大学生に街中を案内していただくB&S(ブラザー&シスター)プログラムでは、憧れのお店に行くことができ、自分たちだけでは気づけなかったイタリアの魅力を発見することができたようで、「B&Sが一番楽しかった!」という声も多く聞かれました。

フィレンツェに向かう途中で立ち寄ったオルビエートでは、物語に出てきそうなかわいい

町並みや、運よく見学できた大聖堂のステンドグラスの美しさが心に残りました。その後訪れたフィレンツェでは、ウフィツィ美術館でボッティチェリやラファエロなど、有名な画家の作品を心ゆくまで鑑賞し、贅沢な時間を過ごすことができました。

そして、ヴェネツィアではゴンドラに乗って運河を巡りました。さらに、サンマルコ広場やサンマルコ寺院、ドゥカーレ宮殿などを見学し、水の都ヴェネツィアの歴史を感じることができました。

今回の旅行で生徒達は、協調性を身につけ、積極的にコミュニケーションをとろうとする大切さを学ぶことができました。また、イタリアという異文化に触れることにより、改めて日本文化の特徴に気付くこともできたのではないのでしょうか。



A班 生徒59名・教員4名
B班 生徒32名・教員2名

イタリア



ドイツ・スイス

ミュンヘンまで約12時間、ミュンヘンからフランクフルトの国内線で約1時間という長いフライトののち、ドイツの地に降り立ちました。空港内のスーパーマーケットで、戸惑いながらも初めての買い物をした後、バスでヘッペンハイムのホテル近くのレストランに移動し夕食をとりました。2日目は、ニーダーヴァルト記念碑の見学や、リュエデスハイムからサントゴアまでの、約90分のライン川クルーズの後、ハイデルベルクに移動し、ハイデルベルク城・カールテオドル橋を見学し、旧市街にて班別自由行動を楽しみました。3日目は、古城街道を通過して、ローテ

ンブルクへ向かいました。中世の雰囲気の街並みが残るローテンブルクでは、木組みの家や教会などの見学や買い物などの班別自由行動を行いました。その後ローテンブルクからロマンチック街道を南下してヴィース教会を訪れ、ロココ様式の白と金を基調とした荘厳な内部に圧倒されました。4日目、午前中はロマンチック街道の終点にあるノイシュヴァンシュタイン城を訪れました。生徒たちは城内の豪華絢爛たる美しさを目に焼き付けていました。午後はリヒテンシュタイン公国の首都ファドゥーツの街並みを観光しました。その後、国境を越え、スイスのグ



生徒84名・教員4名

リンデルワルドまでバスで移動しました。5日目は、ユングフラウ鉄道でユングフラウヨッホに登りました。あいにく天候には恵まれませんでした。それでも一面真っ白な美しい世界を目にし、ヨーロッパで一番高いところにあるポストから日本にエアメールを送ったり、「アイスパレス」を訪れたり、スフィンクス展望台から銀世界を眺めたりしました。午後からはインターラーケンで最後の班別自由行動をしました。スイスのフォークロアショーを鑑賞しながらの夕食は、ヨーロッパ最後の夜にふさわしい、大変盛り上がるものとなりました。6日目、チューリッヒ空港を経て、ミュンヘン空港を経由し、午前7時頃に関西国際空港に到着しました。

日本とは異なるヨーロッパの景色や歴史を自分の目で見、肌で感じる事ができ、貴重な経験となりました。



シンガポール・ ビンタン島



A班 生徒34名・教員2名
B班 生徒68名・教員4名

まず訪れたシンガポール。マーライオン公園では先月改修されたばかりのマーライオンを見ることができ、そのマーライオン公園を見下ろす対岸のマリーナベイサンズ展望台では、56階からシンガポールの近代的風景を楽しみました。

リトル・インディア街では、ヒンドゥー教の寺院「スリ・ヴィラマカリアマン寺院」を車窓から眺めつつ、シンガポール最大級のショッピングセンターであるムスタファセンターに行きました。その後向かったオーチャードロードでは班別自由行動を行いました。生徒たちはそれぞれ店員の方々に英語を使って質問をし、お土産をいっぱい購入していました。

次に船で向かったのはインドネシアのビンタン島。クラブメッドビンタンではさまざまなアクティビティに取り組みました。普段なかなか体験できないシュノーケリングやカヤックなどが人気で、生徒たちは予約をとるため朝早くから計画を立てて行動していました。

全日程を通して、まずシンガポールの文化に触れる中で、多民族国家について考えるという貴重な体験をすることができました。また、インドネシア・ビンタン島でのアクティビティを通し、班のメンバーと一日の過ごし方を考え行動するための協調力・計画力を身につけることができました。



シアトル・ポートランド



生徒41名・教員2名



シアトルではボーイング社工場の見学ツアーに参加しました。目の前で最新機種が組み立てられていく様子をまのあたりにし、さらに全日空機が作られている様子を偶然見る機会を得て、非常に貴重な体験をすることができました。T-Mobile Parkでは、シアトル・マリナーズの試合を観戦しました。生で見ると本場の野球観戦に、生徒たちは興奮を隠せないようでした。また、現地学生がキャンパス内を案内してくれたワシントン大学では、ジェスチャーを交えながら英語で交流し、最後にはすっかり打ち解けた様子でした。

ポートランドでは、広大な敷地の施設で、乗馬などのアクティビティを楽しみました。また、大自然の中、日本では決して味わえないダイナミックなラフティング体験をすることができました。最初は息が合わなかったパドルこぎも、最後にはきれいにタイミングをそろえることができるようになり、達成感を味わった生徒たちは大満足の表情でした。

最先端技術を見学したときも、自然の真ん中に入っていたときも、アメリカのスケールの大きさを肌で感じることもできた貴重な1週間となりました。



バリ島



A班 生徒53名・教員2名
B班 生徒80名・教員4名

全日好天に恵まれたバリ島への修学旅行。行程の前半では、バリ島内の観光をしました。世界遺産である「タマンアユン寺院」・「タナロット寺院」の見学、伝統芸能の「パロンダンス」・「ケチャックダンス」の鑑賞を行いました。インドネシア料理「ナシゴレン」や海鮮料理も堪能し、異文化を肌で感じる事が出来ました。行程の後半は、クラブメッドに滞在。プールやシュノーケリング、テニス、空中ブランコといった様々なアクティビティを楽しみました。滞在されている外国の方や施設の方と、ジェスチャーを交えながら英語で積極的に交流し、アクティビティを盛り上げる生徒達の姿も見られました。また、希望者だけではなく、アユン川でのラフティングを体験。大自然の中、びしょ濡れになりながら、楽しい一時を過ごしました。

異文化を知るだけでなく、海外でのマナー、時間を守る事の大切さ、集団行動の重要性を学んだ修学旅行。異国の地、照りつける太陽の下で、大きく成長する旅となりました。



北海道・東京



生徒28名・教員2名



まずは北海道へ向かいました。晴天にも恵まれた中、牧場では胎児がいる母牛からその生命の息吹を感じながら搾乳体験をしました。他にも動物たちへの給餌見学や空知川でのラフティング体験をし、またパッチワークの路では、美瑛町の美しい景色を目に焼きつけていました。日常生活ではなかなか出来ない体験をする中で、生徒たちは生命の尊さを学び、また自然の偉大さを感じている様子でした。

札幌の市内観光では、道庁旧本庁舎を見学したり時計台を見たりして、歴史や文化を学び感じていました。小樽では北一硝子の製品の工場を見学する班もあれば、生まれ育った町とは異なる街並みに驚きながら散策をしている班も見られ、有意義な自主研修となりました。

次に訪れた東京では、事前に立てた班別行動の計画をもとに自主研修を行いました。あいにくの風雨でしたが、スカイツリーの見学やもんじゃ焼きの食体験など、悪天候の中でもできる最大限のことを工夫しながら班別研修を行いました。最先端技術を見学しに行く班もあれば、大阪とは違う文化を感じに行く班もあり、意義深い修学旅行となりました。



卒業生の活躍



戦うたびに大事な人が増える!!



プロボクサーとして活躍する佐伯さん。激しい試合を重ね、辛い練習を積み重ね日々が楽しいと語ります。チャンピオンとしての矜持を伺いました。

2014年度 卒業生

さえき かすみ
佐伯 霞 さん (23歳)

プロフィール

【アマチュア時代】

- 2011.4(中3) 第1回世界女子ジュニア選手権(ライトフライ級)金メダル獲得
- 2012.12(高1) 全日本女子アマチュアボクシング選手権大会(ライトフライ級)優勝
- 2013.12(高2) 全日本女子アマチュアボクシング選手権大会(ライトフライ級)準優勝
- 2014.12(高3) 全日本女子アマチュアボクシング選手権大会(ライトフライ級)優勝
- 2015.12(大1) 全日本女子アマチュアボクシング選手権大会(フライ級)準優勝
- 2016.12(大2) 全日本女子アマチュアボクシング選手権大会(フライ級)準優勝

【プロ】

- 2018.12 WBO女子アジア太平洋(ミニムム級) 王座獲得
- 2019.4 WBO女子世界(ミニムム級)王座獲得

現在どのような活動をしていますか

プロボクサーです。いつも言うのは、「昼は事務員、夜はプロボクサー」です。

活動を始めたきっかけとその後の経緯は

6歳からキックボクシングをしていました。ロンドンオリンピックで競技種目に女子ボクシングが入ったので、オリンピックを目指して中1・12歳の時にキックボクシングからアマチュアボクシングに転向したのです。でも、結局は自分の階級がなくて。それで、プロに転向して現在です。

高1の時に全日本優勝して、高2の時が準優勝、高3が優勝です。高校の時はライトフライだったのですが、大学に進んでからは階級をフライに上げて、大学1年の時は準優勝でした。大学2年では準優勝。そこで一度選考から外れて、そこから最後の全日本で3位、そこでプロに転向しました。

中3の時にはすでに世界へ行っていました。

はい。中3の4月に「第1回世界ジュニアユース大会がトルコであるから、アマチュアボクシングに転向したばかりだけど出るか?」と言われ、その大会で初めてボクシングの公式戦にライトフライ級で出場し、優勝しました。

ボクシングを続ける中で良かったこと、辛いと感じること

努力をした分だけ叶うことも出来るので、それがボクシングというか、スポーツに打ち込んで良かったなと思える点です。

プロになって良かったと思うところは、こんなことです。試合を観に来る人が自分からチケットを買って応援しに来てくれる、というのは本当に嬉しいしありがたい、というのがプロになって余計に分かるようになりました。大事にしないといけない、と思う人がいっぱい増えました。「試合あるんやろ。行くわ」みたいな連絡をもらおうと、あの人も、この人も、応援してくれる、と感じる嬉しさが増えました。

また、ずっとライバルとして、試合を重ね、辛い合宿も一緒に乗り越えているうちに大好きになって、自分が「もうこの試合でアマチュアを辞めてプロになる」と告げたときに、「あなたのおかげでここまで頑張れた」と言って泣いてくれる友人と出会えたことです。

練習の中で毎回試合の対策を組んで、それをずっと反復して試合に臨むんですけど、今のところしっかり結果が出ているので、それも嬉しいし嬉しいです。

世界戦でも、いつもの練習通り試合をしたら勝てる、と思っているので、日頃やらないことをやって逆に緊張するのは嫌なんです。なので、こだわりは作らず自然体で臨んでいます。

今までは失うものも無かったので、辛いと感じることはありませんでした。でも、チャンピオンになったら、次は奪いに来る人たちがいっぱいいるので、練習に行きたくないときでも「行かない」と思ったら、それが結構縛られている感じがして辛い、と感じることもあります。

どのようにして減量の時期を乗り越えていますか

慣れました。だから、あまりイライラすることもないです。ただ、そう感じる事が出来るのは家族の協力もあります。大好きな揚げ物でなく、あまり好きではない野菜などを出すようにしてくれます。すると自然に「いやいや」となるので。

将来の目標はなんですか

まず、誰が見ても、ボクシングを知らない人が見ても、「この人は強い」と思ってもらえるボクサーになることです。そして現役引退後はトレーナーやジムをやりたい、という夢があります。

在校生に向けてメッセージを

自分はプロに転向して毎日とても楽しい日々です。神戸の真正ジム所属です。長谷川穂積ってご存じですか?その人を出したジムです。自宅から片道2時間かけて通っています。

自分がプロになりたいと言った時、親は初め大反対でした。それでも自分の夢を叶えたくて、半ば強引にプロになりました。けれども、自分の夢を叶えた姿を見た両親は、泣いて喜んでくれました。その時、諦めなくてよかったと心から思いました。悩むことも辛いと感じることもいろいろとありましたが、それを乗り越えた時、また世界が変わりました!

在校生のみなさん、自分を信じて何事にも諦めないで頑張ってください!





選抜メンバーに選ばれ、日の丸を背負って見事優勝!

2019年4月28日～5月3日イタリアにおいて行われた「第4回ディレナツィオーニトーナメント女子」において、U-16日本女子代表として招集され、チームは見事優勝を飾りました。

< 決勝戦 5/3 > 日本 1 - 1 朝鮮民主主義人民共和国 (PK 5 - 4)

高校1年 荻久保 優里さん
高校1年 朝倉 加奈子さん

喜びの帰国をした二人に話を伺いました。

▶ 出場前はどんな気持ちでしたか

荻久保さん(以下・荻):日の丸をつけて戦う責任や不安、緊張はありましたが、海外の選手と対戦するワクワク感もありました。

朝倉さん(以下・朝):緊張とワクワクの連続でした。

▶ 試合中の気持ちは

荻:ちょっとしたミスでも責任を感じましたが、全体としては楽しみながらプレーできました。

朝:周りのみなさんのレベルが高いので、少しでも多くのことを吸収し、できるだけたくさん挑戦しようと思いました。

▶ 優勝という結果に対して

荻:本当に嬉しかったのですが、個人としては内容が良くなかったのが今後の課題です。

朝:自分がこの場にいること、優勝を経験できたことがとても嬉しかったです。

▶ サッカーを始めたきっかけは

荻:兄がサッカーをしていて、その影響で始めました。

朝:幼稚園で毎週サッカー教室があり、楽しかったので、地元のサッカークラブに所属したのがきっかけです。

▶ サッカーを続ける中で良かったこと、辛かったことは

荻:良かったのは、点を決めたとき、試合に勝ったとき、負けたとき、上手いいかないとき、どんなときでも、共に喜んだり助け合ったりできる仲間がいるということです。辛かったのは、ミスが続いて上手いいかない時期があり、壁にぶつかって自分をメンタル的に追い込んでしまっていたときがあったことです。

朝:自分のプレーができなくてミスばかりになり、自信のなくなったときは辛かったです。でも、今回のような選抜メンバーに選んでいただけたことで嬉しく、頑張ろうと思いました。

▶ 今後の抱負を聞かせてください

荻:少しでも多くの人に応援されるように、自覚と責任を持って行動・プレーしていきます。

朝:次回も選抜に選んでいただけるように今後も頑張り、高校選手権・高校総体でタイトルを獲得したいと思っています。
荻・朝:みなさんも、勉強や部活、習い事など、忙しいと思いますが、自分自身の夢や目標に向かって、共に頑張りましょう!



荻久保 優里さん



朝倉 加奈子さん



悔しい経験を重ね、国際大会優勝!!

高校1年 松村 亜来さん

▶ 出場前はどんな気持ちでしたか

初めての国際試合だったので、楽しもうという思いが強く、割とリラックスしていました。



▶ 競技中の気持ちは

楽しいという気持ちを持ちながら、絶対勝つと思っていました。

▶ 結果を知って

「努力し続けてよかった。お母さんにいい報告ができる。」と思いました。



▶ 空手を始めたきっかけは

小学2年生の時に、母に「やってみないか」と誘われて見学しに行ったことです。

▶ 空手を続ける中で良かったこと、辛かったことは

私は空手を続ける中で、どれだけ努力しても結果が出ず、悔しい思いばかりで報われない時期があり、辛いことも多かったのですが、今回のような大きな試合で優勝でき、努力を続けてきて本当に良かった、と心から思いました。

▶ 学業と両立させるために実行している努力・工夫

特に工夫していることはないのですが、テスト前などは練習が終わってから必ず時間を見つけて勉強するように心掛けています。



▶ 今後に向けての抱負と将来の目標

今回の結果に満足することなく、もっともっと進化して、国内でも世界でも通用する選手になり、世界一を獲りたいと決意しています。そして将来は、空手という素晴らしい武道を子どもたちに教えることを通じて、その子どもたちが夢を持つようになってくれたら嬉しいな、と思っています。

松村 亜来 主な戦歴

2019年 AKF第18回アジアCd.Jr.U21選手権
カデット-54キ口級 優勝



夢はオリンピック出場!!

高校1年 野村 風沙さん



▶ 出場前はどんな気持ちでしたか

昨年のアジア選手権大会は転倒してしまったので、今年はとても気合いが入り、緊張しました。

▶ 競技中の気持ちは

競技中は1本1本のレースでベストなパフォーマンスができるよう集中して臨みました。

▶ 競技を始めたきっかけは

自宅の近くに練習場があり、興味を持ったことです。

▶ BMXを続ける中で、良かったこと・辛かったこと

頑張っているにもかかわらず結果の出ないときは辛いと感じますが、BMXを続けている中で海外のレースなどに参加して、現地の競技仲間や友達ができ、世界中の人と知り合いになれたときは、BMXをやっているよかったと思える瞬間です。

▶ 学業と両立させるために実行している努力・工夫

当たり前ですが、練習が終わったあとに勉強する時間を必ず作ることで、両立させています。



▶ 今後に向けての抱負と将来の目標

将来の夢は、オリンピックに出場し、世界で活躍できるBMXレーサーになることです。夢を叶えるため、今の自分に足りないところを補い、着実にレベルアップしていこうと決意しています。

みなさんも自分の夢や目標に向かって共に頑張りましょう!

※BMX:Bicycles Motocrossの略



野村 風沙 主な戦歴

2019年 アジア選手権大会 3位
マレーシアBMX国際大会 8位



卓球同好会は、同好会の中では大所帯です。男子のうち高校生は3年8名・2年16名、中学生は3年4名です。女子のうち高校生は3年6名・2年3名・1年生5名、中学生は1年2名です。現在、計44名で活動しています。中高男女合同で練習を行っており、練習場所としては普段は主に教室を借りています。練習日程は、月・木・金・土の放課後です。練習場所も日程も限られていますが、みな卓球が大好きで積極的に活動しています。

長居公園周回を走って基礎体力作りをしたり、長期休暇を利用して他校と合同練習をしたりする中で、力をつけて大会に臨んでいます。高体連の大会には今まで全て出場しており、経験者も初心者も一生懸命練習に取り組んでいます。

その成果が現れ、5月の大会では、男女ともにシングルス2回戦出場を果たし、男子団体戦は3回戦まで勝ち進むことができました。

これからも様々な試合や大会を通して、技を磨いていきたいと思っています。今後とも応援よろしくお願いたします。

卓球が大好き!!

経験者も初心者も一致団結

女子同好会長 高校2年 萩原 杏奈さん

卓球同好会に入会したきっかけは、高校に入学して、何か新しいスポーツを始めてみたいと思ったことです。勉強との両立もしっかりでき、体力に自信のない人には、その人のついていける練習内容を組んでもらえるところが魅力です。

私が個人戦の試合で負けたときなどに先輩や仲間から適切なアドバイスをもらったり、勝ったときにみんなが自分のことのように喜んだり、アットホームな雰囲気の中で、日々の活動はとても楽しく充実しています。

学年を超えて、メンバーみんな仲の良い元気で明るい同好会です!

男子同好会長 高校2年 山岡 歩夢さん

私が入会した一番の理由は、純粋に「卓球が大好き」だからです。同時に、中学生の時から始めた卓球の技術を向上させ、「もっとうまくなりたい!」という強い気持ちがあったからです。

限られた練習時間の中で、試合に向けて真剣に取り組んでいます。試合では、皆が一致団結して声を出して応援合っているので、仲間意識はとても強いと自負しています。格上の高校にも勝てるようになり、少しずつ実力もついてきました。

また、練習や試合を通じて集中力がついたことは、人生においても大きな糧になると思います。何よりも、「大切な仲間」が出来たことは、私にとって最大の財産であり、何ものにも代え難い宝であると思います。

小学校でがんばっているみなさんを応援している私立中学校です!!



3つの「教育の特色」

充実の英語教育 英語+国際理解教育をさらにパワーアップ

座学重視 「静かで落ち着いた学習環境」を提供

目標は「両立」 「勉強1本」でもなく「クラブ1本」でもありません

英語資格入試・奨学金制度あり/その他特待制度あり



学校法人 大阪学芸
大阪学芸高等学校附属中学校

お問い合わせ

〒558-0003
大阪市住吉区長居1丁目4番15号
TEL 06-6693-6301 FAX 06-6693-5173

詳しくはWEBへ

大阪学芸 附属中 検索

入試関連イベント 2019

学校説明会・
授業/クラブ体験(小4~小6対象)
個別相談会 **9/22**
(日)

入試説明会・
プレテスト(小6対象)
個別相談会

10/20(日)・**11/3**(日・祝)・
11/17(日)・**12/1**(日)・
12/15(日)

12/15は入試説明会・個別相談会のみ
※体験・プレテストはWEB申込が必要です。